【参考資料】　平成20年度　実績報告 （飛騨高山・間伐材テクJV）

作成日：平成21年4月28日

施業集約化	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	108ha	85ha	78.7%	H21予定：114ha	人工林：施業同意レベル 天然林：長期受委託レベル
いつ	4月～3月	6月～3月		通年対応を基本とする	
誰が	集約化担当大宮岩雄	集約化担当大宮岩雄		集約化担当を1名拡充予定	
どういう方法で	個別訪問（25軒） 地区座談会（3回）	個別訪問（30軒） 地区座談会（3回）		施業提案書を積極活用するとともに地域研修会を積極的に開催して施業地を集約化	

間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	利用：15ha	利用：17ha	113.3%	H21予定：45ha	
	切捨：15ha	切捨：　6ha	40.0%	H21予定：30ha	
いつ	10月～3月	12月～3月		梅雨、降雪期間を含めて、出来る限り通年して素材生産	
誰が	素材生産担当野林明也	素材生産担当野林明也		素材生産担当野林明也	将来的に新規1チーム設置を検討
どういう方法で	既設道及び作業道開設により、可能な限り搬出間伐を進める	高密路網による高性能林業機械を駆使した低コスト間伐		梅雨、降雪期間を含めて、出来る限り通年して素材生産	既設道路周辺に加え新規開設した作業路周辺で素材生産

作業道（路）開設	計画	実績	達成率	今後の対応	備考	
数量	W=3.0m,L=2,500m	W=3.0m,L=3,000m	120.0%	H21予定：3,000m（造林作業路） ：1,500m（緊急管理路）	開設費	W=3.0m　1,400円／m
	W=3.6m,L=1,000m	W=3.6m,L=2,843m	284.3%			W=3.6m　4,000円／m
いつ	8～12月	10月～12月		通年（梅雨、降雪時を除く）開設		
誰が	（株）エヌエフシ他2社	（株）エヌエフシ他2社		（株）エヌエフシ他2社に100%外注予定		
どういう方法で	設計・施工・管理：森林組合直営	施工のみ民間企業に外注		速やかな林内路網密度向上のため、作業路の開設に重点化		

素材生産	新規チーム設立（H20）		内容		
新規構築作業システム（機械の組合せ、種類・規格・台数）			伐倒：チェンソー → 集材：（新規）スイングヤーダ(0.45) → 造材：（新規）ハーベスタ(0.45) → 積込：（再掲）スイングヤーダ(0.45) → 運搬：フォワーダ(4t) → 積込：（再掲）スイングヤーダ(0.45) → トラック(10t)		
素材生産チーム数（チーム員数）	実施前 → 実施後		0	→	1チーム（3人/班）
実稼働日数（日）	（H19）　（H20）		0		61
素材生産コスト（㎥／人・日）			0		4
その他					

年間素材生産量	計画	実績	達成率	備考	今後の対応
モデル団地内	900	1,360	151.1%	森プロ関係のみ （新規林産班と連携事業体2社による素材生産）	次年度以降は、出来る限り森プロ団地内にて連携事業体2社により施業集中予定
モデル団地外	200	0	0.0%		
合計	1,100	1,360	123.6%		

上記のほか、プロジェクト推進のために講じる具体的取り組み

計画	実績	達成度検証方法	今後の対応
森林施業プランナーの育成（1名）	森林施業プランナー育成研修出席（1名）	施業プランナーの養成（延べ人数）	森林施業プランナー育成ステップアップ研修出席（1名）
高性能林業機械を駆使した低コスト利用間伐研修会（1回）	美しい森林づくりin飛騨丹生川研修会（1回　12月7日）	説明検討会の実施（回数）	説明検討会の実施（年1回）
各地域の林業グループ員優良間伐モデル林視察研修会（1回）	久々野町林業グループ員視察研修会（1回　12月13日）	説明検討会の実施（回数）	説明検討会の実施（年1回）
地域イベントでの普及啓発(年1回)	実績なし	地域イベントでの普及啓発(回数)	地域イベントで普及啓発(年1回)
高山市森づくり委員会研修会（1回）	美しい森林づくりin飛騨丹生川研修会（1回　12月7日）	現地研修年（回数）	森プロ実施検討会（年1回）
組合員及び関係事業体等との連携強化	飛騨建設業協会路網開設技術研修会（1回　11月7日）	市町村森林管理委員会等へ進捗状況を定期的に報告（回数）	建設業協会と連携を取りながら研修開催
	美しい森林づくりin飛騨丹生川研修会（1回　12月7日）	市町村森林管理委員会等へ進捗状況を報告（回数）	市町村森林管理委員会等へ進捗状況を定期的に報告
	モデル団地内の地区別座談会でPR活動（6回）	地区別座談会の開催（回数）	各地域における区毎の地域座談会でのPR活動（10回）
水の濁度調査	水の濁度調査（一カ所で3回）	地区別座談会、市町村森林管理委員会への報告（回数）	今後も引き続き調査（小流域の三カ所）、一定の降雨後と融雪後に実施
モデル地内の巡回調査	1回	地区別座談会、市町村森林管理委員会への報告（回数）	一定の降雨後や融雪後に巡回調査
環境影響に関する作業日報への記帳	毎月1回の安全会議での趣旨徹底　（11月25日）	安全会議での趣旨徹底（回数）	作業日報への記帳継続、安全会議での趣旨徹底、作業日報の活用方法検討